

福井県データ連携基盤共同利用ビジョン

福井県においては、県、市町および民間企業が活用可能なパーソナルデータを扱うデータ連携基盤である「県民向けサービス連携基盤」を整備し、運用を行っている。

今後、各市町においてパーソナルデータを扱うデータ連携基盤の利用用途が生じた際には、既存の「県民向けサービス連携基盤」を共同利用することを基本とし、県が主体となって関係者との連絡・調整を行う。

既存の「県民向けサービス連携基盤」で提供できない利用用途が生じた際には、機能拡充の検討を行い、新規構築が適切と判断した場合には所要の対応を行う。

記

1. データ連携基盤の現況

福井県の提供している県民向けサービス連携基盤の概要は、別紙のとおり。

2. 考慮事項

令和7年度から、県民一人ひとりのニーズにあわせた「プッシュ型の行政」の推進に向けて「福井県プッシュ型行政推進協議会（仮称）」を開催し、具体的サービスの実装とデータ連携基盤の今後の利活用を検討する。

データ連携基盤の共同利用については、市町の既存の取組やシステムに配慮し、費用負担など十分な議論を尽くし、進めていくこととする。

なお、本ビジョンについては、上記協議会での議論を踏まえて柔軟に見直しを行う。

3. 当面のスケジュール

R 6	R 7	R 8	R 9
県民ニーズの調査	福井県プッシュ型行政推進協議会（仮称）		
● 県民が求める住民サービスの整理	連携基盤の改修（または導入）、新たなサービスの実装		